

みずほCustomer Desk Report 2016/12/20 号(As of 2016/12/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	117.63 AUD/USD
TKY 9:00AM	117.81	1.0446	123.08	1.0263	1.2489	0.7288
SYD-NY High	118.00	1.0480	123.19	1.0283	1.2501	0.7313
SYD-NY Low	116.55	1.0393	121.71	1.0222	1.2355	0.7243
NY 5:00 PM	117.10	1.0401	121.87	1.0270	1.2391	0.7244
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.985/12.735		△25RR	1.003	Yen Call Over	
NY DOW	19,883.06	39.65	債券市場	日本2年債	-0.1680	0.7bp
NASDAQ	5,457.44	20.28		日本10年債	0.0880	0.7bp
S&P	2,262.53	0.50		米国2年債	1.2221	▲3.0bp
日経平均	19,391.60	▲9.55		米国5年債	2.0218	▲4.4bp
TOPIX	1,549.06	▲1.61		米国10年債	2.5382	▲5.3bp
シカゴ日経先物	19,445	80.00	為替市況	独10年債	0.2470	▲6.7bp
ロンドンFT	7,017.16	5.52		英10年債	1.3990	▲3.9bp
DAX	11,426.70	22.69		豪10年債	2.8610	3.0bp
ハンセン指数	21,832.68	▲188.07		USD/CNH	6.9325	▲0.0347
上海総合	3,118.08	▲4.90		ドルインデックス	103.14	0.19
USDJPY 3M Vol	12.85	0.07%	商品市況	CRB指数	191.222	▲0.21
USDJPY 6M Vol	12.64	▲0.00%		NY金	1,142.70	5.30
EURJPY 3M Vol	12.31	0.20%		WTI	52.12	0.22
EURJPY 6M Vol	13.66	▲0.03%		Dubai Spot	52.08	1.35

【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
12月19日	8:50	日	貿易収支(調整前/調整後)	11月 ¥152.5B/¥536.1B	¥227.4B/¥590.5B
	18:00	独	IFO企業景況感指数(総合/現況/期待)	12月 111.0/116.6/105.6	110.6/115.9/105.6
	23:45	米	マークイットPMI・速報(サービス業/総合)	12月 53.4/53.7	55.2/-

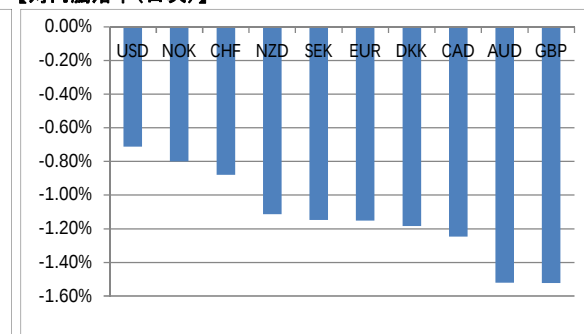
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
12月20日	9:30	豪	RBA議事要旨(12月会合分)	-	-
	-	日	日銀金融政策決定会合	-	-
	15:30	日	黒田日銀総裁 記者会見	-	-
	16:00	独	PPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/-0.2%	0.7%/-0.4%
	18:00	欧	経常収支(季調前/季調後)	10月 -/-	€29.8B/€25.3B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	116.00-117.50	1.0350-1.0480	120.00-122.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は総じて上値の重い展開。クリスマス休暇を控えて取引参加者が徐々に減少する中、ここもとの円安相場にも一服感が見られ、ドル円相場はアジア時間から上値重く推移。アジア時間早朝に117円台後半で取引されていたドル円相場は、米金利の下落、日経平均の下落を背景に、アジア時間には117円割れを試す展開。欧州時間に入り、独ifo景況感指数が市場予想を上回ると、ユーロ円主導でドル円も反発し、117円半ばまで値を戻す場面も見られたが、上値は限定的。その後は、伊大手銀行の増資計画に対する不透明感が意識されたほか、独ベルリンでのテロ事件やトルコでのロシア大使殺害事件等地政学リスクも嫌気され、全般にリスクオフムードに。米金利の低下とともに、ドル円相場も116円55銭の下値まで下落した。米国時間終盤にイエレンFRB議長のタカ派寄りの発言が伝えられると、状況は一変。ドル円相場は再び反発し、117円台を回復した。本日のドル円相場も、クリスマス休暇を控えて、ここもとの円安相場に一服感が見られる中、上値の重い展開が続くものと思われる。

東京	週明けシドニー時間のドル円は、118.00の高値をつける局面があったものの上値は重く117円台後半で推移。東京時間オープン前に発表された本邦11月貿易収支は1,525億円の黒字と予想(2,274億円)を下回る黒字額であったものの、相場への影響は限定的。斯かる中、ドル円は117.81レベルで東京時間オープン。前週末金曜日海外時間に米株が下落した流れを引き継ぎ、安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大する中、ドル円は117円台半ばまで弱含んだ。午後に入って日経平均株価は下げ止まったものの、ドル円はクリスマス休暇前のポジション調整が意識されたこともあり、軟調地合いが継続。117.17の東京時間安値をつけた後、117.31レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は117.31レベルでオープン。序盤から全般的にドル買戻しの流れとなる中、欧州株の軟調推移を受けてクロス円が下落し、ドル円はドル買いとクロス円下落による円買いに挟まれ117円前半を中心としたレンジ推移。結局117.25レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2485レベルでオープン。クリスマス休暇を控えた様子見ムードで通常より流動性が薄い中、全般的なドル買戻しが入ったことで1.24台後半から1.23台後半まで下落。目立ったポンド売りニュースも見られない中で50日移動平均線の1.2414を割った後も続落し、1.2395レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフリー 日比野 00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は117.25レベルでNY時間オープン。朝方は米長期金利の低下を背景にロンドン時間安値の116.97を下抜けるとストップロスオーダーを巻き込みながらドル円は116.80付近まで下落。その後、トルコの首都アンカラでロシアのカルロフ大使が銃撃され死亡したと伝わると地政学リスクの高まりが警戒されて円買いが強まり、安値116.55まで下落。しかし午後に入りイエレンFOMC議長による「平均時給上昇の予兆が見えている」「米雇用市場はここ10年来の高水準」との効派な発言を受けてドル買いが強まり117.40まで上昇。しかし、「独ベルリンでトラックがクリスマスマーケットに突入、数名死亡」との事件がテロの可能性があると報道を受け117円ちょうど近辺まで下落。ただ、その後は米株が反発したことでドル円は下値をサポートされ、117.15まで値を戻し117.10レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.0429レベルでNY時間オープン。朝方はロンドン時間のドル買戻しの流れを引き継ぎ1.0413まで下落。その後米金利の低下を受けて1.0450付近まで値を戻すが、上記イエレン議長の発言を受けて米金利が反発し、ドル買いが強まると安値1.0393まで下落。その後、独ベルリンでの事件を背景に上値の重い推移が続く。1.0401レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:チャイ・坂本